

# 三橋節子 没後 50 年

SETSUKO RETURN

# プレ回顧展

鷺の恩返し 1973年(昭和48年)



人間の中心に愛と死がある、それを芸術は語るのだ。

哲学者の梅原猛氏は夭折した日本画家「三橋節子」の絵画を観て、こう語りました。  
野草の画家とも称された彼女は癌のため利き腕の右手を失い、余命いくばくもない中、  
絵筆を左手に持ち替え描いた近江昔話にまつわる数々の絵画を残しました。  
この度、節子没後50年【令和7年(2025年)】を迎えるに当たり、彼女の人生と画業に  
ついて振り返るプレ回顧展を開催いたします。

2023 6 24 | 土 | 2024 5 26 | 日 |



大津市 HP



NAGARA.SOUSAKU

らいじきうん



ミュージアムキャラクター

MITSUHASHI SETSUKO ART MUSEUM

三橋節子美術館

〒520-0035 滋賀県大津市小関町 1-1 TEL・FAX 077-523-5101



SETSUKO RETURN